YAMANASHI KAISHI TRAVEL GUIDE BOOK

······

甲斐市の

KAISHI no SHIORI



ガイドブッ山梨県

ク光





ユネスコエコパークとは正式名を生物圏保存地域といい、ユネスコによって国際的に認定された地域です。日本では親しみをもってもらうため 「ユネスコエコパーク」と呼んでいます。

KAISHI

山梨県甲斐市 マスコットキャラクター やはたいぬ

01 | KAISHI no SHIORI KAISHI no SHIORI | 02





甲斐市出身の大学者「山県大弐」の遺徳を偲ぶ

甲斐市出身の大学者「山県大弐」の遺徳を偲び9月(秋分の日)に山縣神社で大弐学問祭 を開催します。江戸時代に民主主義の先駆けと言える思想を唱えた山県大弐は多くの学 問を修めたことから地元では「学問の神様」として崇拝されており、お祭り当日は学問成就 祈願の参拝者のほか、神輿や出店など多くの人で賑わいます。山県大弐の著書「柳子新論 (りゅうししんろん)」は、吉田松陰に影響を与えたといわれ、松陰の門下生である久坂玄瑞 は、著書「俟采擇録(しさいたくろく) |の中で山県大弐に思いを馳せております。





甲斐市サクラまつり[毎年3月下旬]

市の花「サクラ」をシンボルに 春の訪れを祝い愛でる

市の花「サクラ」の開花時期に合わせたイベントです。桜花 爛漫なうららかな春の日に家族みんなで集まり、イベントを 楽しんだりサクラを愛でたり、甲斐市の春を堪能頂けます。







おみゆきさんは、今から約1,200年前の平安時代に天皇が勅使を遣わし、釜無川の水難を防ぐため、一宮浅間神社、二宮美和神社、三宮 玉諸神社に命じて水防祈願を行わせたのが起源とされています。神輿の担ぎ手は、紅おしろいに長じゅばん、白足袋という女性の格好で 独特の掛け声とともに堤を踏み固める動作で練り歩きます。神輿の下を子どもがくぐると無病息災の御利益があると言われています。



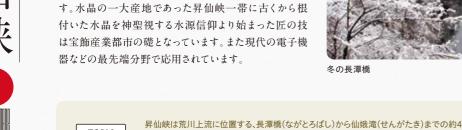


天神森から仙娥滝まで 約4キロメートルの谷あ い両岸には奇岩怪石が 続いており、春夏は花崗 岩の岩壁に松の緑がよ く調和し、秋には紅葉が あざやかに映える絶景

MAP P13 C-6



昇仙峡は荒川上流に位置する、長潭橋(ながとろばし)から仙娥滝(せんがたき)までの約4kmに渡る渓谷です。もともとは、岩盤が連なる 深い谷で、荒川右岸の山々を越える険しい道を通っていました。そこで、江戸時代後期、地元の猪狩村(現在の甲府市猪狩町)に住んでい た長田円右衛門が、人馬が安心して通ることができる、生活のための道を造ろうと、近隣の村などと協力して工事を開始しました。途中、豪 雨により道が流されるなど、工事の中断を余儀なくされましたが、着工から約9年を経て天保14年(1843年)御嶽新道が開通しました。開 通後も円右衛門は、新道の保全に努めながら、新道沿いの渓谷を精力的に紹介し、その美しさを伝えていったそうです。こうした努力によ り、昇仙峡は徐々に世間に知られるようになり、昭和28年(1954年)には国の特別名勝に指定され、観光地として発展してきました。



TOPIC 昇仙峡の

成り立ち

日本一の渓谷美、

その美しさの神髄

かつて皇太子殿下(後の昭和天皇)が当時から名勝地と して有名であった九州大分の耶馬渓を引き合いにして、 「耶馬渓以上である」とお言葉を述べられた御嶽昇仙 峡。令和2年6月19日に23件の構成文化財とともに日本遺 産の認定を受けました。花崗岩が作る迫力の断崖、清冽 な流れにより作られた奇岩の連なりの美しさは圧巻で



ま

えっ 気に たっ ま市 る入りの かり自穏 なの由や ? 場時か 所間な が 気 0

見おゆ甲



ワイナリーを巡りお気に入りの1本に出逢う

甲斐市はワイン用のぶどう栽培に理想的な土地で、 市内にある3つのワイナリーはそれぞれが魅力あふれるワインを造っています。 ワインの醸造施設や貯蔵庫の見学、テイスティングなどが楽しめます。



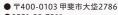
サントリー 登美の丘ワイナリー

南に富士山を仰ぎ、眼下に甲府盆地を望む登美の 丘。ひとつひとつ丁寧に育てたぶどうが手摘みさ れ、ワインに醸され、瓶詰されるまで、一貫したワイ ンづくりを行っています。ワイナリーツアーや、見学 用ぶどう畑の自由散策、自園産ぶどう100%のワイ ンが揃うショップでのテイスティング(有料)など、 楽しみ方は様々です。



フロムファーム 甲斐 赤 2020

登美の丘ワイナリーと甲斐市は、地域 共生・地域活性化を共に推進していく 取り組みをしています。そんなコラボ レーションから生まれたこのワインは、 エレガントな果実香と奥行きを感じら れるやさしい味わいの赤ワインです。



●0551-28-7311



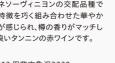
敷島醸造

「良いワインは良い葡萄から |を創業からの理念と し、自社農場で採れた葡萄だけを使って純粋な日 本ワインを造り続けている農家兼ワイナリーです。 心地よい風と日当たりに恵まれた標高600mの「菩 提農場」では、シェンブルガーといった欧州系の希 少な品種も栽培しています。またログハウスのワイ ナリーでは無料試飲もできます。



KaiNoir 2017

山梨県を代表する甲斐ノワール種を醸 造。甲斐ノワールはブラッククイーンと カベルネソーヴィニョンの交配品種で 両者の特徴を巧く組み合わせた華やか な個性が感じられ、樽の香りがマッチし たほど良いタンニンの赤ワインです。



● 〒400-1113 甲斐市亀沢3228

●055-277-2805



シャトレーゼ ベルフォーレワイナリー

シャトレーゼベルフォーレワイナリーは、日本一の葡 萄とワインの産地である山梨県の茅ヶ岳南麓に広が る旧双葉町にあり、前方に雄大な南アルプス連峰、 右方には八ヶ岳を望む素晴らしい環境のなかにあり ます。県産ブドウ以外でも世界中の良質なワインを原 料に本格ワインからリーズナブルなテーブルワインま で醸造・瓶詰めしております。試飲などの詳細につい てはお問い合わせください。



楢熟成シャルドネ

山梨県北村市須玉町江草にある自 社農場のシャルドネ種を使用。果実 味とオーク樽の風味が調和した辛口 の白ワインです。

● 〒400-0105 甲斐市下今井1954

■ 0551-28-4451



赤坂台総合公園

赤坂台総合公園(通称ドラゴンパーク)には約850mの周遊路沿 いに植えられた260本の桜をはじめ、季節ごとの花が植えられた 約2,400㎡の花壇など自然あふれる都市公園です。広大な芝生広 場や、すべり台、噴水など、家族で安心して過ごすことができます。

● 〒400-0118 甲斐市竜王338-2

TOPIC

ドラゴンパークの名前の由来は?

ドラゴンパークの愛称で親しまれている赤坂台総合公園。愛称 の由来は地名の竜王にちなんでいます。竜の王?と思いますよ ね。竜王という名前はむかし釜無川の高岩近くに住んでいた龍 の伝説から名付けられたと言われています。悪い龍でしたが和 尚さんの説法で改心して良い龍になったそうです。ドラゴンパー クのどこかに大きな龍が隠れているので探してみてね。



MAP P14 F-3

家族みんなで楽しめる憩いのスポット



双葉水辺公園

巨大なティラノサウルス型すべり台や、水と触れあう ことができるじゃぶじゃぶ池など、子供たちが元気 いっぱいに遊ぶことができる親水公園です。

● 〒400-0105 甲斐市下今井1136-7



甲斐市岩森の花畑

約6,600㎡の花畑は、春にはポピー、秋にはコスモス が一面に咲き誇ります。天気が良い日には富士山や 南アルプスが望める最高のロケーションとなります。 ● 〒400-0106 甲斐市岩森1853



梅の里

春の花見といったらまず梅。広さ約8haの梅の里とい う名所では15種類の梅の木が丘の上から下まで見 事にうめ尽くしています。3月上旬からが見頃です。

● 〒400-0121 甲斐市牛句2814



ゆうのう動鳥

地元の鮮度抜群な朝採り野菜 手作りの味噌や梅ジャムなどの 加工品が所狭しと並びます。

● 〒400-0121 甲斐市牛句3294 ● 月曜定休



双葉農の駅

苺や桃、葡萄などの新鮮で美味 しい果物や野菜が並ぶ直売所。 また、山梨の名峰が見渡せる絶 景スポットです。

● 〒400-0108 甲斐市宇津谷1764

詰め放題・食べ放題のプチ農業体験も楽しめる!



梅もぎ体験 (5月中旬から6月下旬)

- 敷島梅の里の梅園
- 問合せ先:農事組合法人ゆうのう敷島 055-267-0831

桑の実摘み体験 (5月下旬から6月上旬)

- 甲斐市登美農園
- 問合せ先:甲斐市商工会 ● 055-276-2385



さくらんぼ狩り (6月上旬から下旬)

- 双葉駒沢さくらんぼ団地 ● 問合せ先:JA梨北双葉支店
- 0551-28-6111



氾濫による堆積した肥沃な砂質 土壌により、白くてきめ細かく粘 りが強く、独特の風味がありま す。市内のスーパーやJA農産物直 売所でお買い求め頂けます。

05 | KAISHI no SHIORI KAISHI no SHIORI | 06 トレッキング TREKKING

甲斐市には日本百名山に選ばれた山はありません。 でも、わたし百名山に選ばれる山はきっとあります。



山梨百名山

P① 深田記念公園駐車場30台

茅ヶ岳 かやがたけ

標高1,704m

「日本百名山 | 著者深田久弥氏の終焉の地とし て知られており、百名山ハイカーなら一度は訪 れたい山である。山頂からは富士山、八ヶ岳、南 アルプスなどの大パノラマが広がります。金ヶ岳 へ縦走するハイカーも多い。

山梨百名山

P② 曲岳登山口 4台

曲 岳 まがりだけ

標高1.642m

市街地から北を眺めると山頂が右に傾いて曲 がった様に見えます。曲岳の名前の由来ととも にとてもわかりやすい山です。山体には岩脈が 多く、東南側には岩石の風化により残った奇 岩が目立ちます。

※県営林道冬期閉鎖あり



山梨百名山

P③ 平見城公民館 3台

黒富士 くろふじ

標高1.633m

黒富士山頂から北に延び、金峰山へと至る稜線 の途上に位置する長窪峠から振り返ってみると 「富士」の姿に見える。逆光のなか黒く見える姿 がその名の由来。曲岳から縦走するハイカーも 多い。

山梨百名山

P④ 太刀岡山登山口第一駐車場 10台 P⑤ 第二駐車場約 20台

太刀岡山 たちおかやま

標高1.295m

春には登山道沿いに咲くミツバツツジが美しい。 山名はヤマトタケルが東征の帰路に山頂に太刀 を残した伝説に由来する。中腹には約150mの 大岩壁があり、ロッククライミングの聖地にも なっています。





山梨百名山

P⑥クラインガルデン 10台 P⑦常説寺 5台 P®天神森 30台 P⑨獅子平橋 2台

羅漢寺山 らかんじやま

標高1.058m

かつて山の中腹に修験道場として栄えた羅漢 寺がその名の由来で多くの修験者や信心深い 当時の人々が入山した名残が多く残る歴史深 い山です。石造物や炭焼き窯跡などかつての文 化や生活を感じることができます。



アそ甲 クの斐 テ自市 イ然の ビを北 テ活部 イかは がし自 充た然 実 豊 か て な 11 山 ま 岳 す 地

帯 で





TRAIL RUNNING

オススメコース 御嶽古道上道



甲斐市の北部山麓には標高1,000m台の山々が連なり、1本の線を描くように自然の中に 溶け込むようにトレイルランニングを楽しめる。春から夏にかけては低山ならではの生命力 を感じる新緑があふれ、多くの花が咲き乱れるなかを走り抜けていくのは爽快だ。秋には 美しい紅葉が登山道を彩り、いくら歩いても飽きることがない。冬の澄みわたった空気の なかで山頂から眺める名峰はいつにもまして力強く美しい姿を見せてくれる。



ヒルクライム

HILL CLIMB

距離:15.8km 標高差:808m 平均勾配:約5%

ロードバイクのメッカ山梨県のなかでも坂好きなヒルクライマーたちにはこの坂道を紹介した い。標高285mの竜王駅北口から県道25号線~県道101号線を走り甲斐市北部の標高 1,093mホッチ峠を目指す本格的な山岳コース。スタート後しばらくは緩やかな坂が続く。山 間部に差し掛かると本格的な坂を谷間の渓流に沿って気持ちよく上り、最後には最大勾配 17%の激坂とバリエーション豊かなコースが魅力。コース後半に峠から見える富士山は絶景。

キャンプ CAMPING



ノースランド

キャンパーズビレッジ MAP P13 A-4

標高1200m、茅ヶ岳中腹の谷あいの広大な 敷地にあるキャンプ場。珍しい幌馬車型キャ ビンが、日常とは違う空間を作り出します。

- 〒400-1121 甲斐市上芦沢1352
- 055-277-0105
- 月曜·火曜·水曜定休
- ●冬期休業



ビッグホーン オートキャンプ場

MAP P13 B-5

大自然に囲まれたキャンプ場で気軽にアウ トドア体験を楽しめるプランが充実。キャン プ初心者やファミリーにおすすめです。

- 〒400-1121 甲斐市上芦沢1159
- 055-277-0080
- 平日定休(夏休みを除く)
- 冬期休業

TOPIC

甲斐八山縦走

羅漢寺山(弥三郎岳)→太刀岡山 →鬼頬山→黒富士→升形山→曲岳

> 総距離:34km 累積標高:2,960m

甲斐市には8つのピークがあり、縦横無尽に走る里山の登山道をつなげていくと全ての山を巡ることができる。御嶽道上道から気持ちのいい尾根道へ入るとシング ルトラックのトレイルが続き、少しずつ高度を稼いでいく。御嶽道上道と外道の合流点から羅漢寺山(昇仙峡ロープウェイパノラマ台駅方面)を目指してさらに北 へ。パノラマ台へ向かう道中には白山と呼ばれる眺望地があり、風化した花崗岩が白く山肌を覆っていることがその名の由来で白根三山をはじめとする名峰を一 望できる。また、その先には富士山やパノラマ台が眺望できる白砂山がある。踏み後のしっかりした登山道を辿り、パノラマ台駅へ。弥三郎岳山頂はパノラマ台駅の すぐ目の前であるため、ロープウェイを利用すれば難なく山頂へ到達できる。弥三郎岳山頂を早々に後にし、金櫻神社方面へ林道を下り、昇仙峡ラインを草鹿澤へ 向かい、ダブルトラックの越道峠を駆け上がっていくと太刀岡山と鬼類山をつなぐ稜線へと至る。南へ向かい太刀岡山山頂を踏み、来た道を戻り鬼類山へ。向かう 道中東側には燕岩岩脈が見え、差し込む西日が作る陰影が美しい。鬼頬山の先には黒富士へ至る分岐があり山頂へ向かう。黒富士山頂から黒富士分岐へ戻り、甲 府方面へ少し進めば升形山の岩稜ピークへと至る。岩稜ピークから下り、西へ進むと八丁峠分岐があり、このあたりにはミツバツツジが群生していて春には可憐な ピンク色が目に嬉しい。観音峠方面の急登を越えると曲岳山頂だ。観音峠方面へ稜線を下ると道路向かいに茅ヶ岳登山口があるのが分かる。観音峠の急坂を登 り、一息ついて振り返ると曲岳、黒富士、太刀岡を見下ろすことができる。岩をよじ登るような坂を登りきると茅ヶ岳と金ヶ岳の中間点に至り、明野方面へ向かうと甲 要市最高地点1764m金ヶ岳ピーク、踵を返し韮崎方面へ向かうと茅ヶ岳へ至る。金ヶ岳から茅ヶ岳縦走の途中にある名所石門をくぐり、さらに進むと茅ヶ岳山頂 へと到達する。茅ヶ岳山頂から南へ下ると日本百名山著者である深田久弥先生の慰霊碑があり、多くの登山者がここで石を積み冥福を祈る。さらに下ると深田記念 公園へ至り、すべての山を巡り終える。甲斐の八山を堪能してみてはいかがでしょうか?

→金ヶ岳→茅ヶ岳

07 | KAISHI no SHIORI KAISHI no SHIORI | 08



お湯武心た 楽治田もっ だなのラお さ山時ッ湯 い梨代クで 。のかスゆ 0 0 おら 湯 た を











宿泊可

敷地内から豊富に湧き出る自家 源泉は飲泉も可能な上質湯

- 〒400-0104 甲斐市竜地17
- 0551-28-5000
- 11:00~23:00 ● 年中無休

山梨日帰り温泉湯めみの丘

の異なる5種類の浴槽を楽しめます。

● 〒400-0105 甲斐市下今井2361-11

絶景と源泉かけ流しが自慢のお風呂です。泉温

MAP P14 E-4



総応援数100万票以上の温泉総選挙2021「健康

増進部門」3年連続全国1位の健康温泉です。

竜王ラドン温泉 湯~とぴあ 🗖 宿泊可

● 〒400-0113 甲斐市富竹新田1300-1

055-276-9111

● 10:00~23:00(入浴のみ)



山口温泉

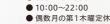
純温泉認定の100%源泉かけ流し無加温温泉。源 泉を直接湯口に流す約37℃の大人限定湯治温泉。

- 〒400-0115 甲斐市篠原477
- 055-279-2611
- 9:00~20:30









0551-28-2500





神明温泉志麻の湯

古くは自噴する温泉で、神経痛、関節痛などに効 能があり、市内外より多くの方に親しまれています。

- 〒400-0123 甲斐市島上条3123
- 055-277-1311 ■ 10:00~20:00
- 月曜定休(祝日の場合は翌日)

MAP P14 E-4

MAP P14 F-4



百楽泉

のどかな田園の中、南アルプス、八ヶ岳、富士山と 360°の絶景を眺めながら、くつろぎのひとときを。

- 〒400-0108 甲斐市宇津谷1715-1
- 0551-28-6000 ■ 10:00~20:00
- 火曜定休(祝日の場合は翌日)
- MAP P14 E-2





言われており、人意味の「交い」がでいるない。 歴史となり多く 人と文化の交流に一が由来とも 残 って ます 点が





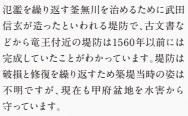
白輿 〔日本遺産構成文化財〕

常説寺にゆかりある順徳上皇が、金桜神社 への奉納品を載せたとも、上皇ご本人がお乗 りになったともいわれています。輿の部分の間 口89cm、奥行95cm、高さは約1mで、鎌倉時 代の作といわれています。

● 〒400-1112 甲斐市吉沢714(常説寺) ※見学はお寺(055-277-3727)にお問い合わせください。

MAP P14 D-5

信玄堤



MAP P14 F-3





光照寺薬師堂

武田氏滅亡の際の戦火からも逃れた、おそらく市 内で一番古い木造建物です。約500年前の建築 様式が特徴的で、春にはお祭りが行われます。

- 〒400-0106
- 甲斐市岩森1622



天澤寺山門

武田二十四将の飯富・山県両氏にゆかりあるお 寺で、墓地には両氏のお墓もあります。山門は 江戸時代後期の建立です。

● 〒400-0113 甲斐市亀沢2609(天澤寺)

MAP P13 D-4



慈照寺法堂

法堂とは本堂のこと。竜王の地名の由来となっ た「竜王水」が湧くお寺で、広い境内には多くの 文化財があります。

- 〒400-0118
- 甲斐市竜王629-1

MAP P14 F-3



MAP P14 E-2

木造五百羅漢像〔日本遺産構成文化財〕

木造阿弥陀如来坐像〔日本遺産構成文化財〕

昇仙峡を流れる荒川。その荒川にかかるつり橋を渡った先にある羅漢寺に伝わった仏像群で、約600年 前の室町時代に造られました。ちなみに羅漢とは「全ての煩悩を滅した状態に達した人」のことです。

● 〒400-0112 甲斐市吉沢4835番地3(羅漢寺)

※仏像は保管庫内に安置されています。間近で見学なさりたい方は下記までご連絡ください。 日程調整の上、対応いたします。



旧金桜神社石鳥居〔日本遺産構成文化財〕

金峰山や金櫻神社へ甲斐市方面から向かう際、最 初に〈ぐる鳥居でしたが、現在は移築されています。鎌 倉時代の形式といわれ、がっしりとした姿が特徴です。 ● 〒400-0121

甲斐市牛句2814番地(敷島総合公園内) MAP P14 E-4

※文化財に関する問い合わせは市生涯学習文化課文化財係 TEL 055-278-1697

09 | KAISHI no SHIORI









歌川広重が描いた風景

「甲州御嶽道外道ノ原」歌川広重も御嶽古道を歩いて金櫻神社へ参詣し、その折に古道の奇石や景色を描いている。



旧羅漢寺の遺構

長い歴史の中でここを歩

い歴史が折重なって

られる道でもあり 超えて空間を共有でき

開山当時は羅漢寺山の中腹にあったが1651年に火 災で焼失。その後、現在の場所に再建されました。 石組みなどかつての遺構を観ることができます。

日蓮聖人や歌川広重も歩いた御嶽古道に



白山(白砂利)

小さな松が所々に見える風化した白い花崗岩砂に 覆われた斜面からは、太刀岡山・茅ヶ岳・鳳凰三 山・甲斐駒ケ岳などのすばらしい景観が望めます。



歌川広重が描いた鞍かけ岩 江戸時代の浮世絵師歌川広重が思わず筆を取っ て描いた奇岩。なるほど納得の存在感である。

古道の奇石や景色

歌川広重が絵に

吉野の金峰山に擬して全国の山伏や修験者

として栄え、特に南北朝時代には、奈良県

権現をまつり、古代から中世には修験道の

山頂直下にそびえる五丈岩の元に蔵

たちが入峰修行したといわれています。

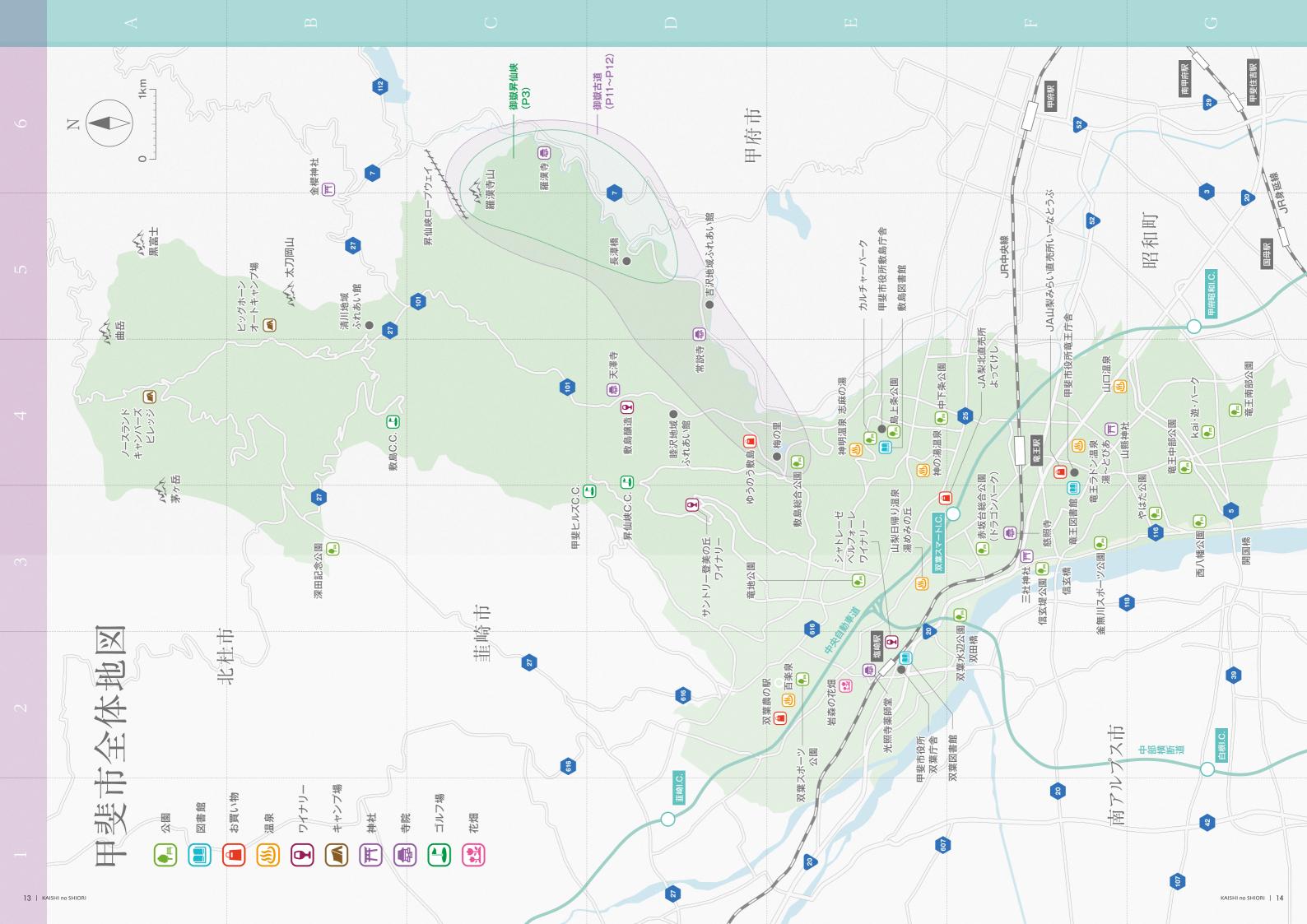
そして、そこへ参詣するための道を「御嶽道」

現在、御嶽道は御嶽古道と呼ばれ多くのハ 沢を経由して沢伝いに進むのが「外道」です たちに親しまれています ・に登って からの くのが「上道」、ここから吉 トは2筋あり、このまま尾

が設けられ、賑わったと伝えられています。 ための登山道が9箇所あり、それぞれに里宮 た。現在、敷島総合公園内に移築復元されて るこの鳥居は、金櫻神社の一の鳥居と伝え 「甲斐国志」によると、江戸時代には参拝の 甲斐市吉沢地内の田 いた鳥居の調査が行

れており、甲斐市内の御嶽道の出発点だと われま んぼのな 散策 ッキン 7 ップ 全櫻神社 白山 (白砂利) 旧羅漢寺の 萬霊塔、|||| ▲ 弥三郎岳 山頂 1,058m 歌川広重が 長潭道 自砂山 御嶽新道 (紅葉スポット) 約6km続< 気持ち良い尾根道 羅漢寺 木造阿弥陀如来坐像· 木造五百羅漢像 歌川広重が 上道 描いた風景 甲斐敷島梅の里 クラインかりレテン 常説寺 白輿 (しらこし) 11 F1L P 駐車場 敷島総合公園 P 旧金櫻神社の石鳥居 (一の鳥居)



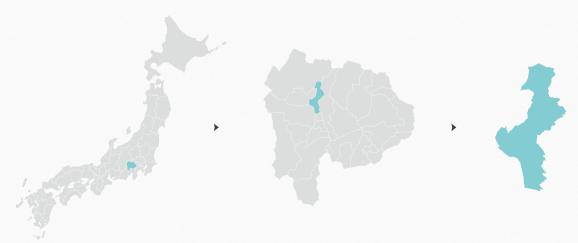




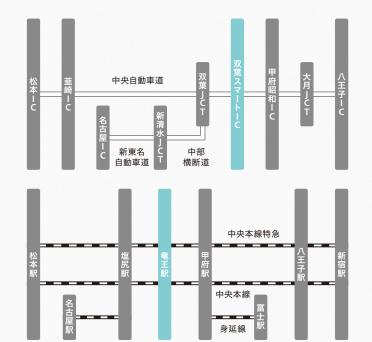
甲斐市へのアクセス

ACCESS

日本列島のほぼ中央で、東京都、神奈川県、静岡県、長野県、埼玉県に囲まれた山梨県の中西部に位置しています。



東京・長野・静岡方面からもアクセス良好



車をご利用の場合

中央自動車道

- ・八王子IC~双葉スマートIC(約60分)
- ・松本IC~双葉スマートIC(約70分)

中部横断道

- ・新清水IC~双葉スマートIC(約60分)
- ・名古屋IC~双葉スマートIC(約160分)

電車をご利用の場合

JR中央本線

- ・新宿駅~竜王駅(特急で約110分)
- ・松本駅〜竜王駅(特急で約90分)
- ・名古屋駅~竜王駅(特急で約210分)

JR身延線

・富士駅~竜王駅(特急で約120分)

₩ 東京(八王子)約60分

₩ 静岡(新清水)約60分

長野(松本)約70分

← 名古屋 約160分

電王駅発着の高速バスも充実!!







お問い合わせは

甲斐市役所 市民協働推進課 〒400-0192 山梨県甲斐市篠原2610 TEL 055-278-1704 FAX 055-276-7214 kouryuu@city.kai.yamanashi.jp https://www.city.kai.yamanashi.jp/